

★南東北須賀川通所コラム★

＜花粉症と新型コロナウイルス感染症の違い＞

今や国民病とも言われる花粉症。今年は昨年より多くのスギ花粉・ヒノキ花粉が飛散しています。疫学調査では日本人の4人に1人は花粉症に罹患しており、今年初めて発症する人もいるかもしれません。鼻づまりや発熱など、新型コロナウイルス感染症の初期症状と花粉症の症状は共通するところがあり厄介です。以下に違いを表にしました。参考にして注意して下さい。

症状	花粉症	新型コロナウイルス感染症
発熱	△（重症の場合、微熱）	◎（38度以上の場合も）
せき	△	◎
のどの痛み	×	△
だるさ	△（重症の花粉症では頭部）	○（全身に強い倦怠感）
鼻水・鼻づまり	◎	△
くしゃみ	◎	×
目のかゆみ	◎	×

今日この頃

その三

2月もあと数日を残して次の月にバトンタッチするこの日、いつもの様に山鳩は餌を求めてやって来た。冷たい風が時折雪を散らせながら通りすぎ鳩も寒そうだ。私は用意した器の米をまいてやる。2羽の山鳩は忙しそうについばみ、何の警戒の様子も見せず、ひたすらくちばしを動かしながらチラツと窓の中の私を見て、その丸い目玉で『いただきます』と言っているのか、『もつとくれよ』と訴えているのかよく分からない。そろそろ昼飯の時間だと台所に行ってレンジに張り付けられた娘のメモを手にして『おっ、今日はこれか』。なにしろ一人暮らしなので何かと面倒をかけている。最近、物忘れが多くなってきたのでメモをする様にした。そうすると頭の中にため込む必要が無いので少しはゆとりができて次なる行動を考える余裕が生まれ、台所でうろろしなくて済む。ついでの夕食の用意をしてこたつに戻ると、既に鳩はいなかった。挨拶無しにやってきて、食べるだけ食べて里山に帰ったのか、それでもいい。なにしろ彼らは野生なのだから、あまり人になれない方がいい。私と彼らの付き合いは5、6年になるが、少しばかりの米で鳩と私はいつの間にか時の流れの中、鳩は私を信用し決して意地悪をしない。それどころか食べ物をくれるなんとも頼りになる人だと認めてくるんだろうか。そんな事を思いながら、この月で私は八十一歳なのだから。

おしまい



南東北通所リハビリテーションセンター須賀川

電話 (0248)73-3329 (直通)

南東北パワーリハビリテーションセンター須賀川

電話 (0248)73-3129 (直通)

ファクス (0248)72-9590 (共通)

営業時間 8:30~17:00

e-メール : sukagawaclinic@mt.strins.or.jp

ホームページ : <http://www.sukagawa-clinic.com/>

〒962-0032

須賀川市大袋町206-2

(一財)脳神経疾患研究所

附属 総合南東北病院 附属 須賀川診療所

電話 (0248)73-3331 (代表)

【関連事業所】

南東北須賀川居宅介護支援事業所

南東北訪問看護ステーション たんぼぼ